

My Favorite Life Style



クリニックの院長・オーナー
石上功次郎氏

「担当の建築士、米山さんととても話しやすく何度もプランを変更してもらったり、無理もたくさん聞いてもらえました。おかげさまで大変気に入っています。依頼して本当に良かったですね。」と語る石上氏

木造のプロが徹底的に重ねた対話で理想を叶えた、クリニック併設の住まい。

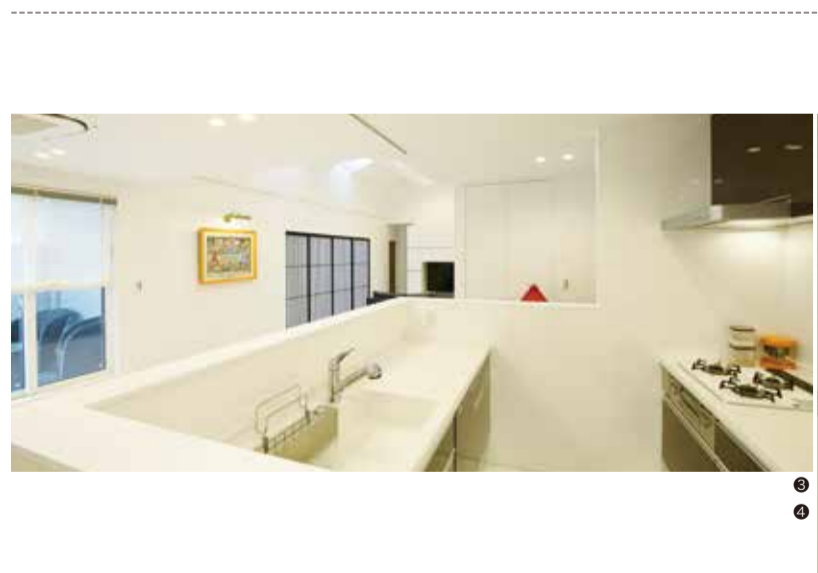
注目の大規模木造建築は
クリニックにも対応

「中大規模の木造建築」が新たに脚光を浴びているのをご存じだろうか。近年、日本の森林資源が枯渇してきている。一方、林業や木材産業の低迷により森林の手入れが十分行われず、森林機能の低下が懸念されている。また、木造建築は鉄骨造や鉄筋コンクリート造より工期が短縮でき、躯体構造の費用も安い。そのためコスト削減になる上、空間設計の自由度も高い。こうした理由から、中大規模建築物でも木材を積極的に使う動きが高まっているのだ。この動きと共鳴するように活躍するのが、木の良さを知り尽くし、木造にこだわった建築を続ける「住空間設計Labo」。同社が手掛けた木造住宅は5000棟を超える。



そんな「住空間設計Labo」が今回担当したのは、一般的な住宅より規模が大きく、特殊性の高いクリニック併設の住宅。兵庫県神戸市の「石上歯科クリニック」は、横長の形状が特徴的。患者様の駐車場を広く取るためのプランだ。「横長に空間を取ると構造的に不安定になりがちですが、特殊な金物構造で耐震性を確保しました」と同社の一級建築士、米山さん。この構法は吹き抜けや大きな窓も取りやすく、開放的で親しみやすいクリニックに「という希望にもマッチした。また、患者様がリラックスして治療を受けられるよう、横長の敷地を逆手にとって個室をすっきりと並べた。横長にブースが並び、どのかと思いましたが、患者様同士の動線もぶつかりにくく使いやすいです」と院長の石上さん。白い壁とすりガラスで仕上げた明るい空間も気に入っているという。

建物の2階は、院長と奥様、3人のお子様暮らしの住居スペース。階段を上すると、広々としたリビングダイニングが現れる。「家にいるときは、家族全員ほとんどここで過ごします。天井も高いので、すごく居心地がいいんです」と院長。お子様が大きくなったら仕切った個室にできるよう、収納や窓の位置なども考え抜かれている。



③

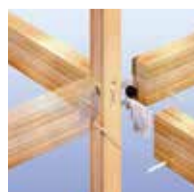
④



Laboでは強度の高いメタル金物と集成材を使った構造躯体で中大規模木造建築を実現。2階建ての福祉施設や医療施設、保育所、幼稚園などに適しています。



兵庫県明石市松の内1丁目4番地13号
TEL/078-929-1551 FAX/078-929-1857
http://www.jk-labo.com/



labo 検索

- ①1階のクリニック。治療用の個室はすりガラスで仕切り、プライバシーを守りつつ明るくつるつる空間に。
- ②道路に近い左側にクリニック入口を、右側に住居の玄関を配置。すっきりと清潔感のある外観。
- ③手元が隠れるよう配慮されたキッチン。前後に作業スペースがあるのも使いやすい。
- ④リビングの横にはモダンな和室も。障子を開放してさらに広々と使える。